

公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 平成30年12月27日（木） 10時00分 ～ 12時30分

1 議題事項

なし

2 報告事項

(1) 県議会の開催状況について

県警察から、「11月20日の文教公安委員会では、「若手警察官への技能伝承の取組」について、第296回定例会では、「特殊詐欺の被害防止対策」、「非行少年の更正」、「りんご盗難対策」、「交通安全施設整備費」について、定例会中の文教公安委員会では、「交通安全施設整備費」及び「木造船漂着事案の安全対策」について質疑があり、本部長及び担当部長が答弁した。」旨の報告があった。

委員から、「りんごの盗難事件は、全国的にニュース性が高かったこともあり、多くのマスコミに取り上げられ報道が目立った。県警としては、盗難防止対策の実施状況やその結果等について、マスコミを通じて県民に知らしめることが大切だと感じた。」、「近年、小学生による万引き事案が多いと聞いている。県教育委員会と連携し、県内の各小学校に対する指導をお願いしたい。」旨の発言があった。

(2) 平成30年11月中の苦情取扱状況及び感謝事例の紹介について

県警察から、11月中の苦情取扱状況及び感謝事例の報告等があった。

委員から、「パトカーは、常に県民から注目されており、小さな違反でも苦情に発展する。気を緩めることなく、勤務に集中し法令を遵守するよう指導を強化されたい。」旨の発言があった。

(3) 平成30年度警察官採用試験の実施状況について

県警察から、「平成30年度の警察官採用試験は、警察官A・警察官B採用併せて105人が合格し競争倍率は5.2倍で、昨年の6.1倍を下回った。最近5年間の受験状況を見ると、応募者、受験者ともに最低であった。来年度からは、大学リクルーターの活用等により、採用活動の強化を図りたい。」旨の報告があった。

(4) 「平成30年冬の交通安全県民運動」の実施結果について

県警察から、「12月11日から20日までの10日間、子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止、飲酒運転の根絶などを重点とし、平成30年冬の交通安全県民運動を実施した。残念ながら運動期間中、発生件数、死者数及び負傷者数ともに増加したが、今後も各種事故防止活動を推進していく。」旨の報告があった。